

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】④教師の個別な学びの様子を互いに共有する

先生研究スペース 外部

7人のメンバー・限定公開

チャット 共有中 ToDo リスト

スペース 19

先生研究スぺ...

先生研究スペース

先生研究スペース

先生研究スぺ...

先生研究スペース 外部

55人のメンバー・限定公開

チャット 共有中 ToDo リスト

見開き1ページから発問をたくさん作る練習を始めてみました

発問練習②

R 6 論文

発問練習②

研究と修養の主体は各教員である。学校の教育目標に沿って、自身の教員としての専門性を主体的に高めることが、よりよい学校での教育活動の充実には欠かせない。本校では、個人の研究の履歴を追うことができるように希望する教員の個別のチャットスペースを作成している。また、スペースにはすべての教職員を招待し、スペースの参加者が研究の様子を参照できるようになっている。これにより、教員としての専門性を高める主体は教師自身であるという意識が職員集団内で醸成されていくことにつながると考えている。

【取組内容】 ④業務に必要な情報を一元化していつでもどこからでもアクセスできるようにする

1	🔗とりあえずリンク集		※よく使うものは、ブックマークに登録しておくとお便利
2	分類	項目	🔗リンク・ファイルチップ
3	01.情報(教)	年度末反省	📄年度末反省 R6高森台中
4	01.情報(教)	月行事予定表 R6年度	📄月行事予定 R6高森台中
5	01.情報(教)	年間行事計画	📄年間行事計画 高森台中
6	01.情報(教)	単元テスト日程表	📄単元テスト日程表 R6高森台中
7	01.情報(教)	「各教科の時間」授業計画	📄各教科の時間 R6高森台中
8	01.情報(教)	校内研情報一覧 R6高森台中	📄校内研情報一覧 R6高森台中
9	01.情報(教)	日課表	📄日課表 R6高森台中
10	02.情報(生)	ラーケーション申請一覧 R6年度	📄ラーケーション申請一覧 R6高森台中
11	02.情報(生)	特別支援生徒の取り出し授業・テスト等対応	📄特別支援【授業・テスト等対応】 R6高森台中
12	02.情報(生)	1学期個人懇談希望調査(担任作業用)	📄個人懇談希望調査 1学期(担任作業用) R6高森台中
13	03.会議	職員会議資料	📄職員会議アーカイブズ R6高森台中
14	03.会議	部会関係	📄部会スケジュール R6高森台中

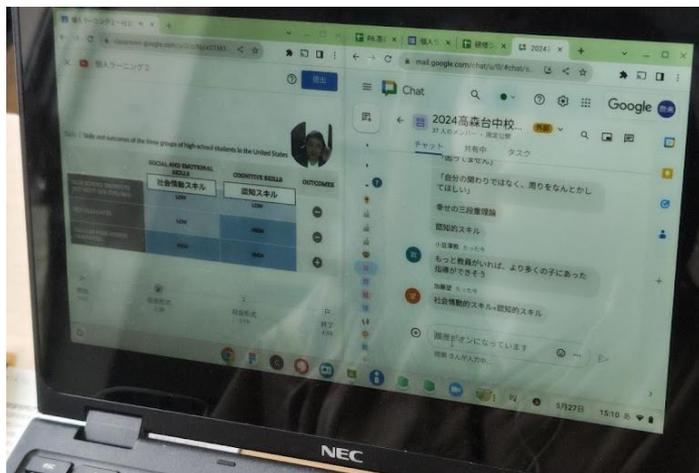
職員間で利用するファイルのURLを集約したシート

一元化された「リンク集」により、教職員が必要な情報や資料に即座にアクセスでき、情報の流通量が大幅に向上している。特に、URLがスクリーン上で共有されていることで、検索がスムーズになったり、時間や場所に縛られずに業務を進められる環境が整備されてきたりしている。これにより、業務効率化と迅速な意思決定が実現されている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】④「個別最適な学び」と「協働的な学び」を教師が体験する



研修中に教員が個別に学習を進める様子

この写真は、研修で教員が個別学習と協働学習を実践する様子を示している。上段ではオンラインツールを活用しながら個別に学習を進め、下では対話を通じて協働的に教員同士で学びを深めている。教員自身がこの学びを体験することで、授業においても個別学習と協働学習の場面を効果的に組み込むようになり、生徒の多様な学びを支援する実践が生まれやすくなると考えている。



研修中に教員が協働的に学習を進める様子

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】 ②情報活用能力を育成するための教育課程を作成し、運用する

月	週	単元名・活動・目標	繰り返し経験させること	教材・スライド
4月	1	1 高森台中のよさをプレゼンにしよう 目 自分の意見をわかりやすく伝えるために情報をまとめて表現することができる	学習過程を実践的に活用させる	情報の時間1年生1学期①
	2	①ちよっと先の未来を見ながら情報の時間で学ぶ目的を知る		情報の時間 1年生 2学期...
	3	②③学習過程を使って問題を解決する経験をする ④Webサイトの構造を知り、効率よく情報を集める	学習過程を実践的に活用させる	情報の時間 1年 1学期③
5月	4	⑤多面的に物事を見る経験をする ⑥物事を比較して見る経験をする ⑦物事を抽象化させる経験をする	webサイトが一定の構造になっていることを理解して効率よく見るための練習	情報の時間 1年 1学期④
	5	⑧自分の意見をもとに、他者と議論をする ⑨自分の意見がよく伝わるような写真を撮って説明をする	自分のよく知っているものについて集めた情報の分類	1年情報の時間⑤
	6	⑩自分の意見がよく伝わるような写真を撮って説明をする ⑪自分の意見がよく伝わるような写真にキャッチコピーを付け加えよう	よく知っているものについて他のものと比較しながらの情報整理 物事の抽象化	情報の時間⑥
	7	⑫学習を振り返る方法を知る		情報の時間⑦
	8			情報の時間⑧
	9		物事を他のものと比較しながら多面的に見る	情報の時間⑨

「情報の時間」の教育課程の一部

⑥ シーズン3ー⑥ 中学生の実態のデータを分析して、レポートにまとめよう

武田尚大・11:03

- 【本時の目標】
全数調査と標本調査を使い分けられること
- 【本時の流れ】
1 前回の振り返り
- 愛知県の気象状況を分析して、レポートにまとめることができる
2 全数調査と標本調査について知る
3 全数調査と標本調査を使い分け方
4 振り返り

- 【単元の目標】
データをうまく使えるようになる
- 【単元の流れ】
1 データをうまく使った問題解決を知り、単元の見通しをもつことができる
2 グラフからわかることを読んで読むことができる
3 箱ひげ図を読むことができる
4 愛知県の気象状況を箱ひげ図に表すことができる
5 愛知県の気象状況を分析して、レポートにまとめることができる
6 全数調査と標本調査を使い分けられること
7 無作為に情報を集めることができる
8 箱ひげ図で制作物に得た結果を表現することができる
9 ①の愛知台中学校の生徒の情報を集めて分析することができる
10 データを探索的に分析して問題を見つけることができる
11 分析した結果をレポートにまとめることができる
12 生成AIを活用してレポートを修正することができる
13 生成AIを活用してレポートを修正することができる
14 単元を振り返り、身につけた力を確認することができる



動画を作成する生徒の活動場面

生徒と学習の流れを共有したLMSの一部

①情報活用能力を育成する教育課程の作成過程
各教科に散らばっていた情報活用能力の育成場面をや教科や学級の担当が学習がスムーズにいくよう教育課程にはないもの便宜上実施していた情報活用能力の育成場面ことなどを集めて整理した。

②情報活用能力を育成する教育課程の特徴
教育課程の目的を具現化するために、生徒が活動を重ねることで情報活用能力という資質・能力が育っている。領域の名前は「情報の時間」とし全学年ごとに週1時間、年間35時間の教育課程を編成した。

③情報活用能力を育成する教育課程運用の成果
情報活用能力は汎用的な資質・能力であるため、各授業の学習成果も充実してきている。

④情報活用能力を育成する教育課程を運用する前提
一人に一台の端末があるクラウド環境を前提として教育課程をつくっている。また、各教科の授業で生徒による問題解決の場面があることも前提としている。

⑤今後の課題
カリキュラム内に無駄や無理がないかの精査。生成AI活用の指導について改善を継続する。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】 ②繰り返し、練習することで問題解決に必要なグラフの作成などの操作に習熟する

ここはお手本シートです。隣のシートで作業しましょう。

名前	1月のお小遣い	階級	度数	相対度数	相対度数×100
A	0				
B	0	0-499	2	0.1	7.7
C	500	500-999	2	0.1	7.7
D	500	1000-1499	6	0.2	23.1
E	1000	1500-1999	0	0.0	0.0
F	1000	2000-2499	2	0.1	7.7
G	1000	2500-2999	0	0.0	0.0
H	1000	3000-3499	3	0.1	11.5
I	1000	3500-3999	0	0.0	0.0
J	1000	4000-4499	7	0.3	26.9
K	2000	4500-4999	0	0.0	0.0
L	2000	5000-5499	2	0.1	7.7
M	3000	5500-5999	0	0.0	0.0
N	3000	6000-6499	0	0.0	0.0
O	3000	6500-6999	0	0.0	0.0
P	4000	7000-7499	0	0.0	0.0



ヒストグラムをつくる練習のためのシートと生徒の活動の様子（右上）

データを扱う単元でスムーズにヒストグラムなどのグラフを作成できるように、練習時間を設けている。このように練習をすることにより、生徒はグラフ作成の手順を理解し、より正確かつ迅速に数字だけで示された情報を必要に応じて可視化できるようになった。その結果、理科や数学の授業でもデータ分析をスムーズに行うことが可能となり、授業の進行がより効率的になった。これは本校の教育課程「情報の時間」での実践である。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】 ①一人一人の議論の様子をクラウド上で把握して、次の単元の構成や指導、見取りに生かす

【学習のめあて】			
名前	★ 状況 ★ ※ 10分前には必ず出発	議論した人（1人目）	気づきの記録
1	説明します ▼	<input type="text"/>	盗んだことより、クジャクヤママユを潰してしまったことにショック、罪悪感を感じている。
	説明します ▼	<input type="text"/>	クジャクヤママユ欲しさの興奮が抑えられず盗みを犯した。エーメールが持ってなかったとしても、結局は興奮が抑えられなかった
	説明します ▼	<input type="text"/>	ちょうを壊してしまったときの感情とエーメールと話しているときの感情の変化がある
	説明します ▼	<input type="text"/>	エーメールが静かな対応を取ることので僕のメンタルを削っている

1年国語 物語単元での学習の様子

クラウド上に様々な情報を残すことができるようになった。教員は議論を通して生徒がどのような気づきを得ているか確認する。その上で授業内で必要があれば、支援に回る。また、次の単元を構成する際にどのような資質・能力を育成するとよいのか考える際の参考にする。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】①チームで目標や学習方法を考え、自分の成長を振り返る

作戦Fig					
学習計画					
だいたいの目安の時間	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
チームの学習目標	「自分とチームの課題を見つけよう！」	「目的にあった練習方法を知ろう！」	「目的にあった練習方法を知ろう！」	「チームの課題に応じた練習をして課題を解決しよう！」	「チームの課題に応じた練習をして課題を解決しよう！」
0-5分	学習の見直しをもつ	学習目標の確認・W-up	学習目標の確認・W-up	学習目標の確認・W-up	学習目標の確認・W-up
5-15分	練習方法を知る ①ドリブル8の字2周 ②シュート練習3種類 ③対面パス、三角形パス ④対人練習	練習方法を知る ①ドリブル8の字2周 ②シュート練習3種類 ③対面パス、三角形パス ④戦術練習	5分練習 ゲーム(4分×3)	①シュート練習 ②パス練習	①シュート練習 ②パス練習
15-35分	1対1、2対2、2対1、3対1、3対2	バスアンドラン、スクリーン、ピックアンドロール	チェックリスト・目標設定・練習計画	ゲーム(4分×3)	ゲーム(4分×3)
35-45分	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り

チームの目標	チームの評価基準 (A : これができたら最高)				
自分たちが相手のゴールまでのパスやシュー	A	自分たちが相手のゴールまでのパスやシュートを守って得点 を1れす			
チームの学び方を表現するシート					

チームの振り返り			自分は試合で何をもっと上手くしたいか?・・・バスケットを積極的に行う 何をもっと改善すべきか?・・・シュートの成功率を上げる。 (攻めを強くする。)	今回は2試合行った。どちらも同点または勝つことができた。練習で行ったドリブル・シュートの練習が試合にいかせていて良かった。また、各々が空間に入り込んでパスを貰うことができた。もっとチーム全体のシュート
	A/パスを貰って一発でゴールを決める B/パスまたはゴールを阻止する	今回は、シュートする練習と、相手を抜いてシュートまで行く練習をした。相手を抜くことができる技はできたけど、いざ相手と対戦したときにそう一瞬でそれをやるのは難しかった。次は、対戦でもそれができるようにしたい。	試合をした。二試合とも同点だった。相手のパスカットができなかったから、次はパスカットができるようになりたい。	一回戦目は同点だったけど、二試合目は勝てた。次は二回戦とも勝てるように、シュートやチームプレイなどをうなくしていきたい。
	A・的確に味方にパスを送って、ゴールを決める B・ゴールを阻止して、パスを送る	今回は練習で、レイアップがすごく上達した。自分はボールがゴールを通り過ぎてしまうことがあったので、あまりボールを投げない事を意識したらうまくできた。まだ敵を巻くドリブルができないので、次回の2V2の練習ではドリブルを中心に練習をしたい。	今回は練習をした後、試合を2試合行った。試合では初めてゴールを決めることができたが、あまりパスカットや敵につくことができなかった。次の試合では、敵をマークして行ける場面は、ゴールを積極的に狙っていき、遠くからのシュートが決められるようになりたい。また、自分の弱みは敵にマークされると	今回は試合で2得点決めることができた。パスもカットできて、マークもできた。過去一で良い試合だった。ただ、ゴール近くなのにレイアップができなかったのが物体なかったなと思った。また試合でレイアップを決めたことがないので、次の試合から積極的にレイアップを狙っていきたい。

個々の学びを振り返るシート

中学1年体育
「バスケットボール」の授業の学びの様子である。チームで単元の進め方や各時の目標を考えて練習やゲームにのぞむ構成になっている。一方で、一人一人にゴール型ゲームにのぞむ際の「空間」についての見方・考え方を担当教員が示すことで、一人一人がどのようなことができるようになったかを自覚することができるようにもしている。チームの成長と個の成長を行ったり来たりしながら振り返りを記入する生徒の様子を確認することができる。教員は生徒の記述から次なる手立ての工夫を考え、実践に反映させるようにしている。